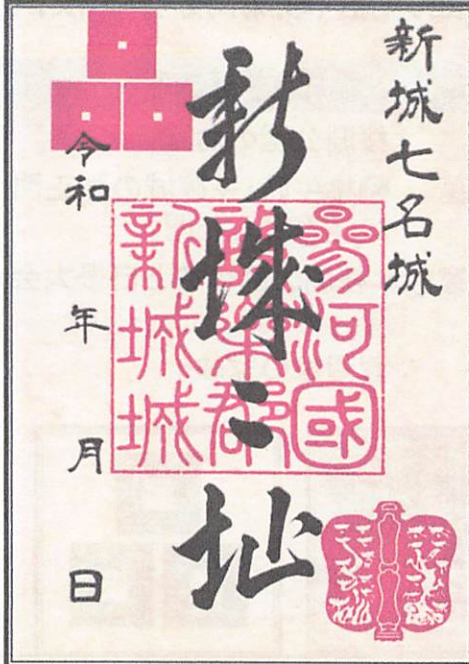


新城城の御城印 徳川家康が、奥平信昌に築かせたお城



しんしろ じょう
新城城 (市史跡)

所在地 / 愛知県新城市字東入船
 時期 / 天正4年(1576)～明治2年(1869)
 城主 / 奥平信昌、菅沼定実から定長に至る 11代 (7,000石)
 概要 / 長篠・設楽原の戦いの後、長篠城主奥平信昌は郷ヶ原に新たな城を築いた。近くにあった新城古城に対して新城(しんしろ)城と呼ばれるようになった。この城で家康の娘亀姫を迎えるが、天正18年(1590)に関東へと移っていった。江戸時代に入り、野田城主であった菅沼定盈の孫である定実が新城を治めることとなり、新たに新城陣屋を置いた。主な遺構として堀と土塁が遺されている。

・JR新城駅周辺に広がる新城市街地には、多くのお寺さんがあり驚きます。当時、郷ヶ原と称し一面の原野が、【長篠・設楽原の戦い後】、奥平信昌が【新城】を築き新城の城下街が形成されて行きました。【延命山永住寺は、奥平貞能が創建したと伝わるお寺で、太田白雪の菩提寺でもあります。】、【宝乗山大善寺は、徳川家康の長女亀姫が創建しました。大善寺は葵の紋の使用を許されたお寺です。】、【和秀山桃牛寺の山門は、長篠城の弾正門を移築したもので左の扉には銃痕の跡があります。】、【幸雲山宗堅寺は、新城藩主菅沼家の菩提寺であり、武田信玄を狙撃したと伝わる信玄砲がこの寺に保存されていました。】、【浄泉寺は鈴木金七郎の菩提寺で、新城城主の片桐半右衛門により創建された。】などが小さなエリアに密集しています。

延命山永住寺



宝乗山大善寺



和秀山桃牛寺



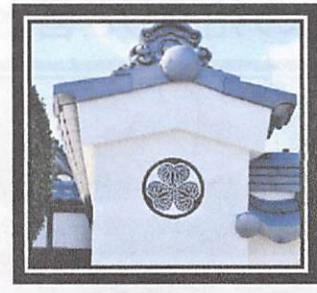
幸雲山宗堅寺



真言宗浄泉寺

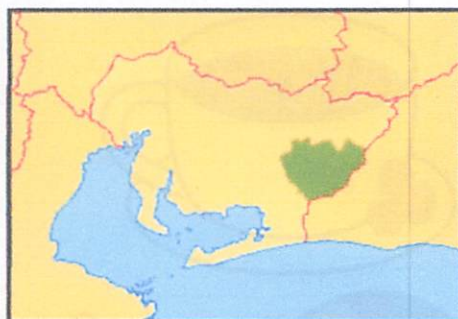


大善寺の堀



【新城戦国三部作】

新城市の位置図(グリーン色)



【しんしろ戦国絵巻三部作へのタイムスリップ】

長篠・設楽原の戦いの戦没者の鎮魂の慰霊祭です

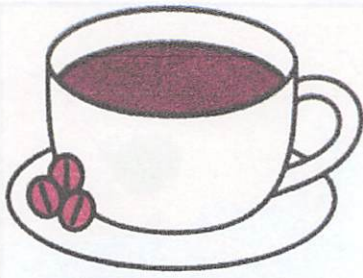
- ・長篠合戦のぼりまつり 新城市長篠:長篠城址周辺
- ・作手古城まつり 新城市作手:亀山城址周辺
- ・設楽原決戦場まつり 新城市:設楽原古戦場周辺
- ・【長篠・設楽原の戦い】の両軍の戦没将士の霊を慰めるために、慰霊法要や、長篠設楽原鉄砲隊の火縄銃の演武、武者行列等が行われ当時の様子が再現されます。それぞれの地区で、まつりの特徴を工夫して、見ごたえがあるまつりに成っています。【戦国絵巻三部作】のまつりとして、往時を忍びます。
- ・まつりは、地域の活性化にも繋がり、子供から大人まで多くの見物人で賑わいます。新城市の戦国の歴史資源の、伝承発信の場にも成っています。
- ・長篠のぼりまつりでは、鳳来地区の小学校のちびっ子ガイドが活動していて、その説明を受けて楽しく歴史を学ぶ事が出来ます。

・長篠・設楽原バトル キャラクターキャストです！私は誰でしょう？



大善寺は、家康の長女亀姫が母築山御前の霊を弔うために立てたお寺です。

コーヒータイム(休憩です)



徳川家康公の御誕生は、天文11年(1542)12月26日、寅の年・寅の日・寅の刻でした。同時に、鳳来寺峯薬師の十二神将の一つ「真達羅大将(寅童子)」が忽然と姿を消してしまいました。

.....
↓
元和2年(1616)家康公が逝去された時、寅童子は元の峯薬師に戻ったということです。

家康公が真達羅大将(寅童子)の生まれ変わりだと言われる由縁です。

18歳と81歳の違い



♥目覚ましで起きるのが18歳

目覚ましの前に起きるのが81歳

♥古いことを知らないのが18歳

新しい事を知らないのが81歳

♥人生につまずくのが18歳

小石につまずくのが81歳

♥ドキドキとときめきが止まらないのが18歳

ドキドキと動悸が止まらないのが81歳

♥免許証をとれるのが18歳

免許証を返納するのが81歳

♥恋で胸を詰まらせるのが18歳

餅で喉を詰まらせるのが81歳

♥魔を知っているのが18歳

魔勘十郎を知っているのが81歳



寅童子 製作販売
大野 竹内久美子氏

